

## 学位の構造的表記について（メモ）

2011 年 6 月 13 日（森）

### ○英語での学位の表記

英国および米国における学位の表記法が段階的構造を有していることはすでに指摘されたとおりである。表 1 は米国ワシントン州の高等教育委員会が示す学位の表記法の考え方をしめしたものである。同委員会は「各大学は学位の表記において独自の命名法を持ちうる」としており、下表はあくまでも、委員会として州立大学の学位プログラムを認可ないしレビューする際に用いられるガイドラインにおける用語の解説であるが、ここでは、B. S. Chemistry のような「三層構造」を有するものと、M. Engineering のような「二層構造」のもの（かつ、Major は表記されない）がありうるということが指摘できる。

表 1 ワシントン州の高等教育委員会の利用する学位の表記法の考え方

| 学位名称                     | レベル      | タイプ                     | 専攻(Major)                |
|--------------------------|----------|-------------------------|--------------------------|
| B. S. Chemistry          | Bachelor | Science                 | Chemistry                |
| B. F. A.                 | Bachelor | Fine Arts               | Music                    |
| M. Engineering           | Master   | Engineering             | Electrical Engineering   |
| Med. Curriculum & Instr. | Master   | Education               | Curriculum & Instruction |
| M.B.A.                   | Master   | Business Administration | Finance                  |
| Ph.D. Linguistics        | Doctor   | Philosophy              | Linguistics              |

出典：Guidelines for Program Planning, Approval, and Review Washington State, Higher Education Coordinating Board, 2001

### ○日本語での学位の表記

日本語での学位の表記において、英語表記において可能であるような階層構造を実現する方法はありうるか、「学士（○○）」という、現在採用されている表記法を崩さないで三重構造を実現するためには、下記のような表記にならざるを得ない。

- ・ 学士（理学・化学）
- ・ 学士（理学（化学））
- ・ 学士（理学：化学）←タテ書きしにくい
- ・ 学士（理学ー化学）
- ・ 学士（理学）（化学）

←取得大学の名称を付記するとたとえば「博士（工学）（機械工学）（乃木坂大学）」ともなる。

- ・ 学士（理学の化学）
- ・ 学士（化学で理学）

どれも日本語で書かれた資格の名称としてはかなりの無理があり、たとえば「理学士（化学）」の簡潔さと表象力の高さは望めない。

ひるがえって、二重構造で良いとすると、「学士（理学）」の表記方法で表現できるが、現在全国の大学で多く採用されているのはむしろ中間の層を飛ばした「学士（化学）」であり、かつ現実的には「中間の層」となる領域を措定しがたくなっていることも推測できる。